

令和4年度

# 事業報告書

社会福祉法人恩賜財団慶福育児会

# 令和4年度 事業報告書

## 目 次

○法人本部	事業報告	1 頁
	別表 1 理事会・評議員会の開催と議案の審議状況	3～4
	別表 2 寄付金受納一覧	5
○麻布乳児院	事業報告	6
	別表 1 (1)月別入・退所児童数	14
	(2)入所理由別児童数	14
	(3)入所時の子どもの月齢	15
	(4)退所児童の在所期間	15
	(5)退所先別児童数	15
	2 心理療法実施状況	15
	3 年間行事及び地区行事の実績	16
	4 職員研修実績	17～18
	5 ボランティア受入状況	19
	6 防災訓練実績	20
○麻布乳児院	子育て短期支援(ショートステイ) 事業報告	21

○特別養護老人ホーム麻布慶福苑 事業報告	22 頁
別表 1 入所者の年齢構成別・性別状況	31
2 入・退所状況	31
3 入所前生活状況	31
4 退所理由別状況	31
5 要介護認定の状況	32
6 身体障害の状況	32
7 日常生活動作の状況	32
8 回診状況	33
9 医務室処置件数	34
10 医療機関への入・退院状況	34
11 受診状況	34
12 機能訓練実施の状況	35
13 クラブ活動の状況	35
14 食事形態の状況	36
15 代替食の状況	36
16 特別食の実施状況	37
17 ご家族等との面会の状況	38
18 ボランティアの受入状況	39
19 職員研修実施(受講)状況	38
20 各種会議の開催状況	39～40
21 防災訓練等の実施状況	41
22 実習生の受入状況	41
○麻布慶福苑 短期入所生活介護(ショートステイ)事業報告	42

# 法人本部事業報告

法人本部は、法人全般の基本的な事項を審議するための理事会及び評議員会を開催しました。更に、麻布乳児院及び麻布慶福苑の運営が適正かつ円滑に行われるよう、両施設の運営全般に関し調整する会議を定期的に行うほか、必要に応じて随時協議を行いました。

また、地域における公益的な取り組みを検討するため、港区内社会福祉法人情報交換会、東社協の東京都地域公益活動推進協議会に参加し、情報収集に努めました。

## 1 会議の開催

### (1) 理事会及び評議員会等

令和4年度における理事会及び評議員会は、法人及び施設運営の基本的な事項等に関する審議を行うために、別表1〔3頁〕のとおり開催しました。

### (2) 法人幹部会

理事長、常務理事、乳児院及び慶福苑の施設長、事務長等の幹部職員が緊密に連携し、施設運営の適正化及び円滑化を期するために、令和4年度においても毎月1回定期的に開催したほか、随時連絡会議を開催して、事業計画の遂行、予算、決算、その他施設運営全般に関する事項について協議を行いました。

### (3) 苦情等解決第三者委員会

令和4年度において利用者等からの苦情申出はなかったが、令和4年8月24日、福祉サービスに係る利用者等からの苦情解決の取り組みとして、苦情解決第三者委員会委員に対して利用者等からの意見・要望等について説明を行いました。

### (4) 給食関係者会議

法人、両施設の施設長、事務長、栄養士及び給食業務委託先の日清医療食品株式会社の幹部職員で構成する給食関係者会議を定期的に開催し、感染症対策を含む衛生管理の徹底、アレルギー食対応、行事食の検討、調理方法等、安心安全な、より良い食事を提供するための打ち合わせを行いました。

### (5) 給与制度等検討委員会について

給与規程の一部改正議案を令和5年3月の第3回理事会にお諮りするに当たり、理事会の前日に当該検討委員会を開催し、下記内容の改正案について説明等を行い、検討委員会委員の同意を得ました。

・令和5年4月1日から施行：本俸表を「令和5年版東社協参考人事給与制度」の「参考給料表」に準じて改正（初任層の引上げに重点を置き、若年層の給与額について引上げ改定）

## 2 永年勤続表彰・感謝状授与

当会の職員として永年にわたり勤務し、勤務成績が優秀で他の模範となる者に対して永年勤続表彰を令和5年4月1日付けで行いました。

＜永年勤続表彰者＞

- ・ 30年勤続表彰者 麻布慶福苑 3名
- ・ 10年勤続表彰者 麻布乳児院 5名 麻布慶福苑 1名

## 3 各施設の維持管理

令和2年度から3年間に亘り取り組んできました大規模修繕等工事は令和5年3月22日に港区の竣工検査が行われ、計画した工事が全て無事実施されたことが確認されました。

工事は、麻布乳児院では、養育体験棟の新設及び児童居室の内装改修等工事を、麻布慶福苑では内部改修工事（4人部屋居室のプライバシー化、看取り室の設置、衛生機器の更新等）を行うと共に、両施設の建物全体の衛生給排水管修繕工事及び電気設備更新工事を行いました。

## 4 雨宮育子基金の運用

雨宮育子氏からの寄附による雨宮育子基金（乳幼児育成基金）の果実で入所児童の屋内外の遊具等の購入等に活用しています。

## 5 情報の開示

社会福祉法人として事業運営の透明性を図るため、定款、事業計画書、事業報告、収支決算、社会福祉法人現況報告書、その他必要な情報をホームページ等で開示しています。

## 6 法人本部、施設の実地（指導）検査結果

麻布乳児院

- ① 検査実施日時 令和5年3月3日 午前9時30分から午後5時まで
- ② 実施機関、検査員数 港区子ども家庭課 4名、保育政策課 2名
- ③ 検査結果 文書指摘事項4件について改善報告書を提出

【別表1】

＜理事会・評議員会等の開催と議案の審議状況＞

開催月日	会議名称	議案等	審議結果
R4. 6. 7	第1回理事会	<p>(議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告の承認の件</li> <li>令和3年度計算書類及び財産目録の承認の件</li> <li>定時評議員会に提案する監事1名の選任候補者について</li> <li>定時評議員会の招集の日時、提出予定議案について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長専決事項について(令和4年3月分)</li> <li>常務理事職務執行状況について( )</li> <li>令和3年度社会福祉充実残額の計算結果について</li> <li>大規模修繕計画による工事等の進捗等状況について</li> <li>麻布乳児院の第三者評価結果について</li> </ul>	承認 " 決議 " 了承 " " " "
R4. 6. 23	定時評議員会	<p>(議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和3年度計算書類・財産目録の承認の件</li> <li>監事1名の選任について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告について</li> <li>令和3年度社会福祉充実残額の計算結果について</li> <li>大規模修繕計画による工事等の進捗等状況について</li> <li>麻布乳児院の第三者評価結果について</li> </ul>	決議 " 了承 " " "
R4. 10. 11	第2回理事会	<p>(議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>未払い残業代の支出及び冷却塔等補修工事に伴う令和4年度第1次資金収支補正予算(案)について</li> <li>労働基準監督署からの労基法第34条及び労基法第37条第1項違反に対する是正勧告及び指導への対応について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長専決事項について</li> <li>常務理事職務執行状況について</li> <li>麻布乳児院、麻布慶福苑の事業状況等について</li> <li>大規模修繕等工事の進捗等状況について</li> </ul>	承認 " " 了承 " " "

R5. 3. 9	第3回理事会	<p>(議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度資金収支補正予算案の承認の件</li> <li>2. 令和5年度事業計画案の承認の件</li> <li>3. 令和5年度資金収支予算案の承認の件</li> <li>4. 管理規程の一部改正案について</li> <li>5. 給与規程の一部改正案について</li> <li>6. 令和4年1月から令和4年10月末までにおける未払い残業代の支出について</li> <li>7. 第2回評議員会の招集について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長専決事項について</li> <li>・常務理事職務執行状況について</li> <li>・麻布乳児院、麻布慶福苑の事業状況等について</li> <li>・麻布乳児院の利用者調査について</li> <li>・大規模修繕計画による工事等の進捗等状況について</li> </ul>	<p>承認</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>報告事項に整理決議</p> <p>了承</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
R5. 3. 27	第2回評議員会	<p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支補正予算について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度資金収支予算について</li> <li>・大規模修繕計画による工事等の進捗等状況について</li> <li>・麻布乳児院への三田労働基準監督署からの労基法第34条及び労基法第37条第1項違反の指摘等への対応について</li> <li>・麻布乳児院の利用者調査について</li> </ul>	<p>了承</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

【別表2】

＜寄付金受納一覧＞

寄 付 者	金 額	備 考
〔乳児院〕		
・	10,000 円	
・	150,000 円	
・	570,000 円	
・	200,000 円	
・	50,000 円	
・	100,000 円	
・	100,000 円	
・	118,310 円	
小 計	1,298,310 円	
〔慶福苑〕		
・	100,000 円	
・	60,000 円	
・	200,000 円	
・	100,000 円	
・	100,000 円	
・	100,000 円	
・	50,000 円	
小 計	710,000 円	
合 計	2,008,310 円	



# 麻布乳児院事業報告

## 1 概要

本院は、児童福祉法第37条に定める定員70名の乳児院です。

入所した乳幼児の養育にあたっては、これまでと同様に乳幼児が心身ともに健やかに育つよう小グループ担当制により、愛着関係を重視し、個々の乳幼児の基本的な生活習慣が身につくような養育を行うと共に、生命の安全と病気の予防・健康の保持に心がけた養育を行ってきました。

加えて、入所児童に対して家庭養育優先の考え方にに基づき、家庭復帰への支援及び特別養子縁組を含む里親委託等への委託促進にも努めてきました。

このため、看護師・保育士等の養育者の人材確保と職員の資質の向上等に取り組むと共に、職員の意見や提案等を汲み上げる各種会議や各種委員会の開催等その円滑な運営に取り組むことにより適正な施設運営に努めました。

なお、令和2年初頭から発生した新型コロナウイルス感染症に対応して、当院においても入所児童の健康と安全を守ることを最優先に、併せて職員の感染予防にも積極的に取り組む等、国・東京都の感染症の蔓延に対する予防施策に基づき、嘱託医・看護師等の指導のもと、院内において感染が発生しないよう安全・安心の確保に努めてきました。

その過程で、保護者・里親の皆様との面会や外出、各種行事及び保育実習等についても制限せざるを得ない対応となりましたが、保護者・里親の皆様はじめ関係者の皆様や職員の協力により令和2年度までは感染者の発生がありませんでしたが、令和3年度において入所児童4名、職員6名が感染し、令和4年度においては入所児童26名(うち1名は2回罹患)・職員32名(うち2名が2回罹患)が感染しました。

感染発生にあたっては、事前に作成していた「新型コロナウイルス感染症発生マニュアル」に基づき、また、嘱託医のご指導を受け、必要な対応を図ることにより、院内での感染拡大を最小限に食い止めることができました。

今後、院内においては引き続き新型コロナウイルスのみならず、感染予防対策の充実に努めてまいります。

また、地域支援事業として実施している港区在住の方を対象とした子育て短期支援(ショートステイ)事業については、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、一時的に実施を見送ったことから利用実人数及び利用延べ人数が激減しましたが、令和4年度においては利用実人員が88名・利用延べ人数が346名の実績となり、令和3年度と比べ利用実人員、利用延べ人数共に1.3倍増加しました。

## 2 入所児童の状況

### (1) 入所児童数

令和4年度の月別初日在籍の平均人数は35名であり、令和2年度の49名、令和3年度の38名と比べ更に減少しました。例年であれば、年度前半は在籍人

員が少なく、後半にかけて充足率が高くなる傾向ですが、令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防の観点から入所に際して児童及び家族の体調等を確認したことが反映したことで、大規模修繕工事のため、一部居室が使用出来なかったことが、一年を通して入所数が少なくなった主な要因です。

入退所の状況については、入所児童数は34名、退所児童数は33名となっており、前年度と比べると入所児童数は5名増、退所児童数は2名増となっています。

別表1の(1) [14頁]

## (2) 理由別入所の状況

入所児童34名の入所理由でもっとも多かったのは、ネグレクトをはじめ心理的・身体的虐待を理由とする「虐待」の15名(44.1%)でした。次いで、複雑な家庭環境が6名(17.7%)、母の疾病が5名(14.7%)、となっており、虐待を理由とする入所が前年同様に最も多い割合となっていますが、母の疾病を理由とする入所が前年度と比べて半減し、養育拒否が新たに4件(11.8%)と急増しています。これら4つの理由で全体の約88%を占めています。

その他、両親の疾病が2名(5.9%)、母出産が1名(2.9%)、不法滞在1名(2.9%)となっています。

別表1の(2) [14頁]

入所時の児童の月齢、退所児童の在所期間は、別表1の(3)(4) [15頁]のとおりです。

## (3) 退所先別の状況

退所児童33名の退所先は、家庭引取が18名(54.5%)、児童養護施設等への措置変更が8名(24.2%)、里親委託が7名(21.3%)となっています。

退所児童数が前年度から2名の減でしたが、家庭引取の割合が減少し、児童養護施設等への措置変更が増加し、里親委託の割合はほぼ前年同様となっています。

別表1の(5) [15頁]

## (4) 養育支援への取り組み

入所児童に対する養育支援は、小規模部屋での家庭的な養育を行っており、下記のとおり児童の月齢に応じた各部屋において、令和4年度事業計画に定めた「養育の重点目標」及び「各部屋ごとの養育方針」に則り、それぞれの児童の個性やリズム、体調に合わせた養育を心がけて日々取り組みました。

養育の特色として、養育者(看護師・保育士等)が、入所から退所までの期間同じ児童を受け持つ担当養育制に加え、日々の養育においては、二交代制(8:00~20:00/20:00~8:00)を採用して朝の食事介助から子どもが就寝するまでの時間、部屋担当の養育者が交代することなく、継続して児童との愛着関係を重要視した体制をとっています。

夜勤の養育体制は、0歳~8ヵ月頃の児童を対象とした部屋はA・B棟各1名

の養育者を配置しており、8ヵ月頃～1歳8ヵ月頃までの児童の部屋については、3部屋に対してA・B棟各1名を配置しています。また1歳8ヵ月頃以上の部屋はA・B棟各1名を配置し、毎日合計6名で夜勤を行っていましたが、現在、大規模修繕工事のために1パートを閉めているため、毎日5名で実施しています。これに加えて平成29年度以降は、夜勤時の児童の急変等をチェックするために巡視を行う夜勤専門看護師2名を配置し、毎日1名が勤務することにより夜勤巡視体制を整備してきました。なお、令和4年11月から夜勤養育者の負担を減らすため、夜間専門養育者を3名採用し、毎日1名が勤務するシフトとしています。

日勤の養育体制は下記のとおりです。

月 齢 区 分	児童の定員 日中の養育体制	A棟	B棟
0歳～8ヵ月頃児	定員 7名 養育者3名	2階 ひよこ室	2階 ダンボ室
8ヵ月頃児 ～1歳3ヵ月頃児	定員 4名 養育者2名	2階 りす室	2階 バンビ室
1歳3ヵ月頃児 ～1歳8ヵ月頃児	定員 4名 養育者1名	2階 こねこ室 ビーバー室	2階 ミニー室 プー室
1歳8ヵ月頃児以上の児	定員 4名 養育者1名	1階 うさぎ室、こぐま室 キリン室	1階 ミッキー室、キティー室 スヌーピー室、ドナルド室

#### (5) 日常診療

集団での養育の場において、入所児童の健康管理は重要です。当院では毎週3回(月・水・金)の診察日を設け、小児科医による往診を行っています。入所時・退所時の診察、生後2ヶ月からの各種ワクチンの予防接種・定期的乳幼児健診をはじめ、日々の発熱や感冒症状等に対する診察を担って頂き、病気の早期発見・早期治療の体制に万全を期しております。

#### (6) 心理療法の実施状況

心理療法担当職員、治療指導担当職員による、全入所児童の日常生活の行動観察や発達検査を通して、養育担当職員と共に個々の子どもの成長を丁寧にとらえ、相談助言に応じました。その中でのよりケアを必要とする子どもに対しては心理面接やより精緻な発達検査を行いました。また、保護者、里親への心理面接等多職種連携を頻回に行いました。

別表2 [15頁]

## (7) 行事等

令和元年度までは、入所児童が季節を感じ自然とのふれあいを感じることができるよう、交通事故等に十分に留意しながら近くの公園などでの外遊びや、感染症の流行等に配慮しながら春・夏・秋には幼児の院外保育を実施していましたが、令和2～4年度は新型コロナウイルス感染予防に注意しつつ、施設近くの公園や公用車で送迎可能な公園での遠足を実施しました。(院外では秋から動物園見学のみを再開しました。)

また、児童の日常生活に変化を持たせ社会性を育てるために、地域のお祭りや麻布慶福苑の高齢者との交流など、年間を通じて各種の行事を開催していましたが、お祭りや交流は中止とし、その代わりに院内でパートごとに夏祭り、運動会、クリスマス会等の各行事を実施しました。 別表3 [16頁]

## 3 職員の研修等

児童の養育にとって、職員の資質の向上は欠かせないものです。そのため、例年外部講師を招いて院内研修を年3～4回実施していましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染予防のため「マルトリートメントについて」、「アンガーマネジメント講座」、「ライフワークストーリー」(各1回)の計3回を外部講師の協力を得て、リモートによるオンライン研修方式で実施しました。

その他、東京都社会福祉協議会乳児部会主催で行われた各種研究会・研修会及び全国社会福祉協議会及び関東ブロック乳児院協議会主催の職員研修会に職員の経歴やニーズをふまえて主にオンラインによる研修に参加させました。

別表4 [17頁]

## 4 各種会議、各種委員会等の開催

施設の円滑かつ適正な業務遂行と情報の共有化を図るために、全体連絡会(職員会議)をはじめとした各種会議及び各委員会を開催すると共に、令和2年度から必要な対応を図るため新型コロナウイルス感染症予防特別委員会を設置し、それぞれ目的に沿って活動しました。

### (1) 各種会議の開催

#### ① 運営会議(12回)

施設運営の基本的事項を含めた全般にわたる課題や関連する諸問題について、幹部職員内で審議検討するとともに、施設長の運営に関する各般の提案等を協議し決定しました。

#### ② 全体連絡会(職員会議)(12回)

全職員を対象に施設運営の状況や決定事項等について報告・説明し、周知を図るとともに職員からの意見等を聴取し、それらについて応えていましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染防止のため、集合できない月はオンラインにより実施しました。

③ 給食会議（10回）

乳幼児のための献立、食事の内容、衛生管理等について、直接処遇職員、栄養士を中心に、検討及び協議を行いました。

④ 事故防止等対策会議（10回）

養育中の子どもの事故等を未然に防止するため、危険な場所がないか等について事故防止チェックリストによる定期的な点検・検証を行い、転倒防止対策等を行いました。

⑤ グループリーダー会議（12回）

養育主任、養育副主任、グループリーダーによりグループ会議からの報告と意見を聴取し、要望や提案事項の検討と運営会議に諮る事項等を決めました。

⑥ グループ会議（12回）

各パート2部屋ごとにグループ編成した養育者による養育等に関する情報交換と意見等及び入所児の成長発達等の状況の情報交換を行いました。

⑦ 新人育成会議（4回）

指導者相談役（養育副主任各棟1名）と新人指導者により指導方法の統一と新人職員の業務等の理解度・支援等の評価等を行い、新人職員個々の指導の方向性を確認しました。

⑧ ケースカンファレンス（10回）

例年、入所児の養育上の課題の理解と課題解決に向けた支援方法等のケースカンファレンスを概ね月1回の頻度で、A・B棟各1ケースについてそれぞれの養育者間で行っていましたが、令和4年度はコロナウイルス感染予防対策をおこなった上で回数を減らして実施しました。

⑨ 新型コロナウイルス感染症予防特別委員会（毎月2回 計24回）

施設長、看護師長、家庭支援専門相談員、里親交流支援員、心理士、栄養士、養育総主任、養育主任が集まり、入所児童及び職員等関係者の感染防止対策、感染発生時の対応、児童入所の受入れ、入所児童の面会・外出・外泊及びショートステイ利用児童の受入れ体制等について話し合いを行い、嘱託医の指導を仰ぎ、コロナウイルス感染発生時を含め必要な対応を行いました。

(2) 各種委員会の開催

① 養育向上委員会（6回）

コロナ禍の様々な制限がある中で養育、夜間緊急時対応トレーニング、院内研修、ケースカンファレンスの行い方について検討・見直しを行いました。

② 養育体制検討委員会（5回）

新型コロナウイルス感染症予防対策における夜勤の勤務体制や夜勤者の休憩時間の確保のための対応策について検討を行いました。

③ 行事委員会（11回）

行事を企画・立案し、夏祭り・お楽しみ会・クリスマス会等の院内行事の準備、開催を行いました。

④ マニュアル検討委員会（5回）

養育の手引（日常生活・疾病対応・記録方法等）や写真・アルバム作成マニュアルについて見直し等を行いました。

⑤ 感染症予防対策委員会（5回）

感染症予防のための消毒対策、職員の手洗いチェッカーによる適切な手洗い状況の確認、新人職員への嘔吐処理のレクチャー、職員共用休憩室の清掃方法、院内で感染症が起きた時の食事等の対応策についての検討を行いました。

⑥ 防災委員会（5回）

非常用備蓄品（食料・水等）の賞味期限及び数量チェック、避難用リュック内の中身確認・補充、非常時の必要物品の検討・購入、また避難訓練の内容について検討を行いました。

⑦ 事故防止対策委員会（5回）

事故防止対策及び施設内虐待防止対策の検討・事故報告書・マニュアル・チャックリスト等の検証等を行いました。

⑧ 写真委員会（6回）

入所児童の写真の整理・管理、アルバム作成方法についてマニュアルの見直しを行い、併せて写真の印刷や写真データの整理を行いました。

⑨ 大規模修繕委員会（12回）

令和3～4年度にかけて実施した大規模修繕等工事について、事務員・専門職・養育現場の代表者が工事業者に対して、内装改修等の工事進捗状況の確認及び施工に関わる要望等を行いました。当委員会は令和5年3月工事竣工に伴い終了しました。

⑩ 広報委員会（6回）

“子どもの声”を届けるというテーマで年2回（7月・1月）広報誌「麻布乳児院だより」を発行し、乳児院、児童養護施設及びボランティアの皆様や関係支援者の方々に送付しました。また、ホームページやパンフレットの見直しを行いました。

## 5 実習生の受入れ

保育士養成実習施設として、専門学校、短期大学、大学からの要望に応じて23校26名の受け入れを予定していましたが、コロナウイルス等の感染が発生したため13校15名の受入を行い、保育士の養成に協力しました。

心理士養成の施設として、大学院からの要望に応じて1校1名の受け入れを行い、心理士養成に協力しました。

また、地域母子保健学の見学演習として、大学、大学院からの要望に応じて2校23名の受け入れを行い、助産師養成に協力しました。

## 6 ボランティアの受入れ

例年、ボランティアの方々には、養育補助、入所児童の衣類の裁縫・補修、衣類等洗濯物の整理整頓、清掃、ガーデニング等の援助をいただいています。令和

3年度はコロナウイルス感染予防の為、理髪以外の申し出を辞退していましたが、令和4年度は清掃・ガーデニングの援助の受け入れを再開しました。

別表5〔19頁〕

## 7 防災・防犯対策

火災や地震を想定して毎月1回消火・通報・避難誘導、麻布慶福苑との合同訓練の他、新規採用者及び夜間勤務者の夜勤明け時間帯を利用した非常放送の操作訓練を実施しました。

防犯については、防犯監視カメラ、炎感知センサーの設置及び職員通用門、子ども玄関を暗号施錠化しており、引き続き不審者の侵入防止等に努めています。

別表6〔20頁〕

## 8 職員の状況

### (1) 令和5年4月1日現在の職員配置状況

職種 基準現員	施設長	医師	栄養士	事務員	看護師	保育士	被虐待 児童 対応 職員	小規模・個 別ケア担 当職員
職員配置基準	1	(1)	1	1	内、看護師8名以上 41		1	(2) 6
現員	1	(4) 嘱託医	2	3	(6) 8	(6) 35	1	8

職種 基準現員	家庭支 援専門 相談員	里親支 援専門 相談員	里親交流 支援員	心理療法 担当職員	調理員等	シヨート ステイ 担当職員	合計
職員配置基準	2	1	1	(1) 1	8	(2)	(6) 64
現員	3	1	1	(1) 1	(3) 3	(1) 1	(21) 68

- ・( ) の数は非常勤職員の別掲
- ・看護師(6)のうち派遣職員3名、保育士(6)のうち派遣職員3名
- ・給食業務は外部委託

### (2) 職員の健康診断等

職員の健康診断は、春季に全職員を対象として実施し、直接処遇職員に関しては秋季(年2回)実施しました。腸内細菌検査については、栄養士・調理員は毎月、直接処遇職員は年4回、間接処遇職員は年1回実施しました。

更に全職員を対象に労働安全衛生法の規定に基づく、職員の心理的な負担の程度を把握する「ストレスチェック」を行い、集団分析結果等に基づく職場環境改善の検討を行いました。

なお、令和4年度から、職員の健康診断受診施設を変更し、新たな医療機関の産業医と連携を図ることとし、毎月1回産業医による個別面談を実施しました。

## 9 施設の設備

令和3年～4年度において給排水管の更新、養育体験棟の増設、児童居室の内装改修等を行う大規模修繕等工事については、令和3年10月から工事着工となり、令和4年度末をもって予定どおり工事が完了しました。

また、一部居室の空調設備の部品交換・洗浄を行い、生活環境の改善を図りました。

## 10 苦情解決の取り組み

入所児童にかかる利用者（主に保護者、里親等）からの苦情等に対し適切に対応するため、入所時に「慶福育児会の苦情解決制度」のリーフレットを渡し、その「苦情の受付」・「苦情解決の体制」の内容等を説明し周知することとしている。

令和4年度は利用者等から苦情の申し出はなかった。

### 1.1 自己評価・利用者調査の実施

国は社会的養護の質の向上を図るため、「乳児院運営指針」を定めたほか、平成24年度から3年に1度、外部専門機関による第三者評価の受診、利用者調査及び毎年度の自己評価等の実施を義務化しました。

麻布乳児院においては、令和3年度に外部専門機関による第三者評価の受診、利用者調査を実施しました。令和4年度は利用者調査を実施し、結果については施設内に掲示するとともに全職員に配布し閲覧できるようにしています。



【別表1】

(1) 月別入退所児童数〔令和3年度・令和4年度〕

(単位：人)

区分	月別												平均
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
令和3年度 初日在籍	40	40	37	39	37	35	36	35	36	39	40	40	37.8 (54.0%) (暫定定員70人)
令和4年度 初日在籍	37	33	33	32	36	35	36	36	38	36	34	36	35.2名 (50.2%) (暫定定員70人)
入所児童数	1	1	4	6	2	3	2	2	1	0	2	10	計 34名 (月平均2.8)
退所児童数	6	2	4	2	3	2	2	0	3	2	1	6	計 33名 (月平均2.7)

(2) 入所理由別児童数〔令和3年度・令和4年度〕

(単位：人)

区 分	令和3年度	令和4年度	備 考 (令和4年度の割合)
虐 待	12	15	44.1%
複雑な家庭環境	4	6	17.7%
母疾病	10	5	14.7%
養育拒否	0	4	11.8%
母出産	0	1	2.9%
母家出	0	0	0.0%
両親拘束	0	0	0.0%
両親の疾病	2	2	5.9%
不法滞在	0	1	2.9%
未婚・若年	1	0	0.0%
合 計	29	34	100%

## (3) 入所時の子どもの月齢 (単位:人)

月 齢		人数	備 考
1	7日以内	6	38.2%
2	8日から1ヵ月未満	7	
3	1ヵ月～3ヵ月未満	3	8.8%
4	3ヵ月～6ヵ月未満	1	3.1%
5	6ヵ月～1歳未満	6	17.6%
6	1歳～2歳未満	8	23.5%
7	2歳～3歳未満	3	8.8%
8	3歳以上	0	0.0%
合 計		34	100%

## (4) 退所児童の在所期間 (単位:人)

在所期間		人数	備 考
1	7日以内	2	15.1%
2	8日から1ヵ月未満	3	
3	1ヵ月～3ヵ月未満	5	15.1%
4	3ヵ月～6ヵ月未満	4	12.1%
5	6ヵ月～1年未満	2	6.0%
6	1年～2年未満	7	21.3%
7	2年～3年未満	3	9.1%
8	3年以上	7	21.3%
合 計		33	100%

## (5) 退所先別児童数〔令和3年度・令和4年度〕

(単位:人)

退所理由 年度別	児童養護施設等 への措置変更	里親委託		家庭引取	合 計
		養育家庭	養子縁組		
令和3年度	6 (19.4%)	2 (6.5%)	5 (16.1%)	18 (58.0%)	31
令和4年度	8 (24.2%)	4 (12.2%)	3 (9.1%)	18 (54.5%)	33

## 【別表2】

## 心理療法実施状況

## (1) 心理療法等の実施状況 (月別対象者数)

(単位:人)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
対象者数	34	30	29	29	31	30	29	29	33	18	24	31	347

## (2) 実施業務内容

- ・心理面接 (児童、保護者・里親)
- ・行動観察・発達検査
- ・面会場面の観察
- ・職員へのコンサルテーション (助言等)
- ・会議、ケースカンファレンス、委員会への出席
- ・その他 (電話相談、アフターケア、関係者会議、措置変更先との連携)

【別表3】

＜年間行事及び地区行事の実績＞

行事種別	期 日	内 容
誕生会	随 時	各クラスで、それぞれに工夫して実施した。
院外保育	春・夏・秋	幼児クラス 令和4年度は、感染対策を実施したうえで動物園への遠足を再開した。
地蔵祭	6月9日	賢崇寺の住職を迎え、院内の子育て地蔵のお祭りを実施した。
夏祭り	8月25日	密を避ける為、時間を区切り保護者を招いて夏祭りを実施した。
地域のお祭り	—	例年9月に広尾（地元）の氷川神社の大祭で、地域の子ども神輿が園庭を訪れ交流するものだが、令和4年度は中止となった。
運動会	10月13日	雨天だった為、各フロアごとにお楽しみ会を実施した。
クリスマス会	12月22日	各フロアごとに、子どもによる歌や劇・サンタさんによるプレゼント贈呈を実施した。 令和4年度は保護者の参加を見送った。
その他	① 節分 (2月) ② ひな祭り (3月) ③ こどもの日 (5月) ④ 敬老の日 (9月)	

【別表4】

＜職員研修実績＞

No.	研修名称	主催者	開催地	開催日	参加者
1	乳児部会施設長会	東京都社会福祉協議会	東京	年11回	2
2	乳児部会制度政策推進委員会	東京都社会福祉協議会	東京	年11回	2
3	乳児部会養育看護研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年3回	3
4	乳児部会栄養研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年3回	1
5	乳児部会事務研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年3回	2
6	乳児部会家庭支援研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年3回	3
7	乳児部会心理研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年4回	2
8	乳児部会里親支援研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年8回	2
9	乳児部会地域支援研究会	東京都社会福祉協議会	東京	年5回	1
10	新任職員研修会（オンライン）	東京都社会福祉協議会	東京	5月13日	8
11	第56回関東ブロック乳児院協議会	関東ブロック乳児院協議会	山梨	6/9～6/10	1
12	発達障害の子どもたちの理解 （オンライン）	東京都社会福祉協議会	東京	7/12	1
13	第65回全国乳児院研修会 （オンライン）	全国乳児福祉協議会	東京	7/6～7/22 7/25	2
14	子どもの心の発達と養育環境	東京都社会福祉協議会	東京	8/24	1
15	第39回関東ブロック乳児院協議会 職員研修会（オンライン）	関東ブロック乳児院協議会	新潟	11/10～11/11	2
16	第71回全国乳児院協議会	全国乳児福祉協議会	香川	10/6～10/7	1
17	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修 新任研修①	東京都社会福祉協議会	東京	9/8・9/22 R5. 3/1	2

18	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修 新任研修②	東京都社会福祉協議会	東京	11/14・11/28 R5.3/7	2
19	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修 新任研修③	東京都社会福祉協議会	東京	12/5・12/14 R5.3/9	2
20	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修リーダー研修①	東京都社会福祉協議会	東京	9/16・9/27 R5.1/16	2
21	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修リーダー研修②	東京都社会福祉協議会	東京	11/7・11/25 R5.2/20	2
22	令和4年度児童養護施設高機能化 多機能化人材研修リーダー研修③	東京都社会福祉協議会	東京	10/13・10/27 R5.1/19	2
院内 研修	・ マルトリートメントについて ・ アンガーマネジメント講座 ・ ライフワークストーリー	講師：木村 秀 講師：須田 愛子 講師：徳永 祥子	院内 院内 院内	7月7日 11月4日 令和5年2月2日	養育者・ 専門職 他

【別表5】

＜ボランティア受入状況＞

サークル名等	令和3年度			令和4年度		
	回数	延回数	延人数	回数	延回数	延人数
聖心五月会	週2回	0回	0名	週2回	0回	0名
東洋英和学院小・中学 部母の会	週3回	0	0	週3回	0	0
港社協（ゆりの会）	月1～2回	0	0	月1～2回	0	0
五月（ゆりの会）	不定期	0	0	不定期	0	0
夏期体験ボランティア	月2～8回	0	0	月2～8回	0	0
美容（理容）師	1回/1ヵ月	4	8	1回/1ヵ月	6	12
プルデンシャル生命(株)		0	0		1	10
霊友会		0	0		0	0
ハンズオン東京関係 団体		0	0		6	54
個人・その他団体		0	0		0	0
合 計		4	8		13	76

(注) 令和4年度は理髪・清掃・ガーデニングのボランティア受け入れを再開しました。

【別表6】

## ＜防災訓練実績＞

訓練実施日	訓練内容	訓練参加者	
		職員	乳幼児
4月14日 (木)	初期消火・防災教育 非常放送・避難誘導	45名	37名
5月17日 (火)	初期消火・防災教育 非常放送・避難誘導	45名	30名
6月10日 (金)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	8名	30名
7月14日 (木)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	10名	37名
8月23日 (火)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	10名	37名
9月8日(木)	地震訓練・初期消火 身体防護・二次災害防止	35名	30名
10月28日 (木)	麻布慶福苑と合同訓練 避難誘導、初期消火	2名	0名
11月10日 (木)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	9名	37名
12月8日 (木)	初期消火・防災教育 非常放送・避難誘導	45名	35名
1月12日 (木)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	9名	37名
2月9日(木)	初期消火・防災教育 非常放送・夜間想定	9名	37名
3月9日(木)	麻布慶福苑との合同訓練 避難誘導、初期消火等	30名	36名

## 子育て短期支援（ショートステイ）事業報告

平成13年度から港区の乳幼児ショートステイ事業を受託して実施しています。乳幼児の保護者の社会的事由（疾病、出産、仕事等）により一時的に家庭において養育できない時などに、短期間お子さんをお預かりし、保護者の子育てを支援しています。

令和4年度の利用実績は、次表のとおり実人員88名、延べ346名となり、新型コロナウイルス感染予防の観点から実績が減少した令和3年度と比べて利用実人員、利用延べ人数共に1.3倍に増加しました。

利用理由としては、育児疲れ、仕事（夜勤・出張等）がほとんどを占めています。

### <乳幼児ショートステイ利用実績>

#### 〔令和4年度〕

年 齢	事 由 別 内 訳															
	疾 病		育児疲れ		出 産		介 護		冠婚 葬祭		仕 事		その他		合 計	
	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数
0歳	0	0	18	103	0	0	0	0	0	0	8	24	5	18	31	145
1歳	4	15	6	17	1	14	0	0	0	0	8	19	1	5	20	70
2歳	3	19	9	20	0	0	0	0	0	0	15	68	0	0	27	107
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	24	0	0	10	24
合 計	7	34	33	140	1	14	0	0	0	0	41	135	6	23	88	346

#### 〔令和3年度〕

事 由 別	疾 病		育児疲れ		出 産		介 護		冠婚葬祭		仕 事		その他		合 計	
	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数	実 人 員	延 人 数
合 計	3	4	30	118	1	15	0	0	0	0	30	111	4	18	68	266



## 特別養護老人ホーム麻布慶福苑事業報告

麻布慶福苑では、令和4年度においても、入所定員の充足を図ると共に、これまでと同様に入所者一人ひとりの立場に立った個別の対応に心がけ、利用者の人権の保護と虐待の防止に努めてきました。

入所者への経済的な虐待が疑われる場合は、成年後見制度の導入に向けて関係する諸機関（港区、社会福祉協議会等）へ相談を行い適切な対応に努めました。

令和2年1月ころから世界中に脅威を震撼させた新型コロナウイルス感染症の予防対策では、毎日の手すり、ドアノブの消毒を行うとともに、入所者及び職員には、施設内においてワクチンの5回目接種を済ませ、さらに、職員及び清掃等委託業者、内部改修等工事業者、理髪、マッサージなど施設に頻繁に出入りをされる方へのPCR検査を毎週実施いたしました。

また、新規の特養入所者や新規のショートスティ入所者には、入所の際に数分で判定のできる抗原検査を実施し、施設内に持ち込まない対策を行ってきました。

ご家族との面会については、高さ2メートルほどのアクリル板を購入したうえで感染対策を講じた会議室において対面での予約制面会の実施を行いました。

しかしながら、世界中で新型コロナウイルス感染が騒がれてから、丁度3年目を迎えた12月に、入所者の一人から陽性反応者が出て、施設内での隔離をいたしました。慶福苑は、多床室ということもあり同室の入所者、また、近くで食事をしていた入所者に感染が拡がり、約1か月の間に入所者の半数以上の方が陽性者となり、それ以外のほとんどの方が濃厚接触者となる大規模なクラスターが発生してしまいました。

職員には、防護服の着用、アイマスクの着用をさせたうえで、介護業務を行っていただきました。

面会については、一時期中止を余儀なくさせていただきましたので、ご家族の皆さんには、大変ご迷惑とご心配をおかけしました。

外部からのボランティア活動の中止、新規ショートの受入れの中止、ボランティア活動については、事業や活動の自粛をしてきたこともあり、入所者の楽しみが少なくなりましたが、職員で対応出来るクラブ活動やマイクロバスで出かける初詣、お花見などを実施してきました。さらに、希望する入所者には「寿司」や「すき焼き」、「うなぎ」などの出前をとり食事での楽しむ機会をもっていました。

介護人材の確保では、都心における介護現場における人材の確保に苦慮している中、麻布慶福苑もその例外ではなく、依然として厳しい状況が続いていますが、職員が定着し働きやすい慶福苑となるよう処遇面や環境整備、新人職員育成委員会を設置し離職を防ぐよう努めています。

介護基盤の整備では、施設の設備が経年により老朽化しているため法人全体施設の設備更新や各フロア的生活環境の改善を図り、入所者の安全・安心や働く職員の負担を軽減するため、令和2年度から取り組んでいる4人部屋居室のプライバシー化や看取り室の設置、衛生機器の更新等を行い、令和4年度からは給水、給湯、雑排水、汚水、空調ドレン等の

設備配管更新工事を行い、介護基盤の整備に向けての取り組みをいたしましたが、令和5年3月に無事工事は終了いたしました。

施設介護では、集団生活での調和、安全性、日常生活の楽しみなどを見出していただけるよう配慮し、感染症予防、事故防止、身体的拘束の廃止を重点に取り組み、利用される方にとって安全・安心な生活環境を維持できるように努めてきました。

## 1 入所者の状況

特養入所者の状況については、1日の平均在籍者数は94.1人で、前年度(98.3人)に比べ減少しました。

短期入所生活介護(ショートステイ)事業については、利用延日数1,394日で、前年度(483日)に比べ増加(911日)しました。

### (1) 入所者の年齢構成別・性別状況(別表1)[31頁]

入所者の令和5年3月31日現在の平均年齢は、88.3歳(前年度89.3歳)で、100歳以上の高齢者は7人(女性7人)となっています。

年齢構成別では、86歳以上が62%を占めており、男女比率は男性が16.3%、女性が83.7%となっています。

### (2) 入・退所状況(別表2)[31頁]、入所前生活状況(別表3)[31頁]、退所理由別状況(別表4)[31頁]

令和4年度の入・退所状況は、入所者27名(前年度18名)、退所者は31名(前年度21名)で、前年度より入所者、退所者ともに増えています。

また、入所前生活状況は、その他(施設等)からの入所が多く、退所理由別状況は、当施設で亡くなる方(看取り対応)がほとんどですが、令和4年度は医療機関で亡くなられた方が5名、その他長期の入院加療が必要なため退所された方は2名でした。

### (3) 要介護認定の状況(別表5)[32頁]

平成27年度から特養に入所申し込みできる方の要件が要介護度3以上の常時介護の必要な方となったことで、令和4年度も要介護4以上の方が多数入所されていますが、年度末時点の平均介護度は3.89で前年の4.04より低くなっています。

### (4) 身体障害の状況(別表6)[32頁]

身体障害者手帳の交付を受けている方の割合が、全体の18.5%(前年15.6%)であり、身体障害の82.4%(前年86.6%)が肢体不自由のため日常動作に介助が必要な要因となっています。

### (5) 日常生活動作(ADL)の状況(別表7)[32頁]

排泄・入浴介助は、一部介助を含めるとほとんどの入所者が必要としており、食事介助は、一部介助を含めると、34%の入所者が必要としています。

また、車椅子を使用される方は90%、認知症状を有する方は87%、オムツ使用者は50%となっています。

## 2 医務室の状況

医務室（無床診療所）には、看護職員（看護師）6人を配置しているほか、嘱託医師は6人（内科、週2回：5人で交代して回診）（精神科、月2回：1人で回診）配置、その他（形成外科・皮膚科、月2回：1人で回診）の往診があります。

### （1）回診状況（別表8）〔33頁〕

内科、精神科の嘱託医師による入所者の回診は、年間延べ1,526人が受けています。

### （2）医務室処置件数（別表9）〔34頁〕

医務室での入所者の処置件数は、年間延べ15,263人の処置を行っており、疾病等医療措置が必要な場合には、協力医療機関である北里研究所病院において必要な治療等を依頼しております。

### （3）医療機関への入・退院状況（別表10）〔34頁〕

入所者の病院への入・退院状況は、年間で入院が54人、退院が51人でした。

### （4）受診状況（別表11）〔34頁〕

病院での受診状況では、内科を中心として、年間延べ149人が受診しました。

### （5）健康診断

入所者全員の「健康診断」は、令和4年9月2日に「古川橋病院健診センター」の協力を得て、慶福苑1階会議室及びディールームで実施しました。施設内での実施は4年目となり順調に終了しました。「インフルエンザ及び新型コロナウイルスの予防接種」も慶福苑内において実施しました。

### （6）感染症対応

施設内において、感染症予防職員研修会を開催するとともに、令和4年度においては、毎月1回以上の危機管理対策委員会を開催し、感染症予防対策を検討してきました。

「BCP(事業継続計画)」を策定し、具体的対応を協議するとともに、来苑者にはアルコール消毒（手洗い）、うがいの協力、マスクの着用、体温の測定、面会簿で体調等を伺うなどの協力を求めてきました。

また、1日1回以上の居室の換気、毎日の手すり、ドアノブの消毒の実施、全職員及び新規入所者の抗原検査の実施などの対策を行ってきました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターとなりましたが、インフルエンザ・ノロウイルス感染症の発生はありませんでした。今後も、継続して感染症予防に取り組んでまいります。

### 3 機能訓練の状況（別表12）〔35頁〕

機能訓練は、身体的に虚弱化し、諸機能が低下していく高齢者であっても、当該訓練を受けることによって、機能の低下を防ぐことができるので、日々欠かせないものです。

#### （1）個別機能訓練

立位保持訓練や歩行訓練、その他日常生活動作に関する訓練を行う事によって日常生活を営むのに必要な機能の減退を予防することを目指しました。

体操のように集団で行うか、個別で行うかは別として、機能訓練を医療とは別の形で行いました。

1日当たり平均12.0人（昨年度11.0人）、年間を通して延べ3,042人（昨年2,792人）の入所者が機能訓練指導員による指導・個別機能訓練を受けました。

#### （2）集団運動

個別機能訓練に対し音楽療法と運動療法を合わせ、以後、集団運動と呼称します。音楽療法は平成23年度から音楽療法士（外部スタッフ）を招いて実施しています。

音楽や映像を通じて遠隔記憶の想起をする事で脳の血流をよくするなどの効果を期待した取り組みです。また、思い出を整理する事で精神的な安定を図ります。毎週水曜日の午前・午後に実施しています。

運動療法は音楽やボールなどを使用して心身の健康維持への取り組みであり、生活の質を良くするため、音楽に合わせての体操やボールを使用したレクリエーションを取り入れるなど入所者が楽しみながら適度な運動ができるように取り組んでいます。

集団運動は一日当たり平均12.5人、年間延べ3,158人の入所者が参加しました。

### 4 クラブ活動の状況（別表13）〔35頁〕

毎日の生活に張り合いを持っていただくため歌謡クラブ、習字クラブなどの活動を毎週行っています。

外部からのボランティアによる動物（犬）と直接触れ合えるアニマルセラピー（日本動物病院協会）や子どもたちの歌やふれあいの持てる活動（みなと保育園）などの協力は、令和2年2月26日から新型コロナウイルス感染症対策の影響によりボランティアによる活動を中止しており、職員での活動となりましたので、実績回数は大幅に減りました。

なお、令和4年度は、外部ボランティアによる音楽療法やアニマルセラピーなど年度途中から一部実施を再開した活動もありました。

### 5 給食(栄養管理)の状況

より良い給食の提供を目指す一環として、委託先業者（日清医療食品株式会社）と法人両施設関係者と2ヶ月に1回「給食関係者会議」を、委託先業者と当施設職員と月に1回「給食会議」を開催し、打ち合わせ協議を行い、円滑な給食運営に努めました。

低栄養、誤嚥防止のため利用者個人について、多職種協働による栄養ケアマネジメント

及び嚥下評価を実施したところ、一定の成果が得られました。

#### (1) 食事形態の状況 (別表14) [36頁]

全般的摂食状況については、入所者の多くは加齢等による機能低下が見受けられ、年々個別対応の栄養管理(食事)が必要となっており、主食の形態については多岐にわたっています。

特に最近では、食事量が減少し十分に栄養が摂取出来ない利用者のために主食・副食を半量にして、高カロリー栄養食を補食としてつけるいわゆる「ハーフ食」対応のケースが更に増えています。

また、栄養があまり摂れなく嚥下状態が悪い利用者には、主食のパン粥をミキサーにかけ、ペースト状にしたものを提供しました。

さらに、疾病により療養食(治療食)が必要な利用者は、糖尿病、減塩食を合わせると19人でした。昨年度(17人)より増加しました。

#### (2) 代替食の状況 (別表15) [36頁]

アレルギー、薬の相互作用、嗜好的な理由により、代替食を必要とする食品及び人数は増加傾向にあります。

#### (3) 特別食の実施状況 (別表16) [37頁]

毎月実施している誕生日会食のほか、年に2回、テーマを決めて提供する「お食事会」のほか、季節の行事に合わせた食事の提供と、選択食の実施をいたしました。

### 6 ご家族等との面会の状況 (別表17) [37頁]

入所者は、ご家族等との面会をととても楽しみにしているのですが、ご家族の方々にはできるだけ来苑していただくようお願いしています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の入所者への感染防止の観点から緊急事態宣言及びまん延防止措置、クラスターが発生した期間は面会中止の措置をとりました。それらの措置が解除された後は、会議室にてアクリル板越しの面会を予約制で行う対応を再開し、少しずつ戻ってきました。

### 7 ボランティアの受入状況 (別表18) [37頁]

例年の主な活動内容は、クラブ活動の介助、諸行事における移動の介助、話し相手、散歩介助等ですが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止、利用者への感染防止の観点から全面的に受け入れを中止といたしましたが、音楽療法、アニマルセラピー、ホーム喫茶など一部で再開しました。

### 8 施設整備の状況

令和2年度から令和4年度にかけて取り組んでいる麻布慶福苑大規模内部改修等工事は、令和4年3月までにプライバシー保護改修工事、看取室対応改修工事、衛生機器等更新工

事が終了し、令和4年度からは第2期改修工事として給水、給湯、雑排水、汚水、空調ドレン等の設備配管更新工事を行い、介護基盤の整備に向けての取り組みを行い、令和5年3月20日に竣工いたしました。

## 9 職員等の状況

### (1) 職員配置の状況

令和5年4月1日現在の職員配置（「短期入所生活介護」（ショートステイ）担当を含む。）の状況は次のとおりです。

職種別	施設長	事務員	相談員	介護職員	看護職員	機能訓練職員	介護支援専門員
当苑の配置定数	1	3	1	36	5	1	1
現員 (実人数)	1	3	1 (1)	33	6	1	1
職種別	リスク マネージャー	栄養士	介助員	調理員	医師	合 計	
当苑の配置定数	(1)	1	1	—	—	50	
現員 (実人数)	(1)	2	1	委 託	嘱 託	49 (2)	

(注) 介護職員33人の内訳は、常勤職員31人、非常勤職員1人、派遣職員1人である。

看護職員6人の内訳は、常勤職員4人、派遣職員2人である。

相談員（ ）内は、介護支援専門員（ケアマネージャー）が兼務している。

リスクマネージャー（ ）内は、介護支援専門員（ケアマネージャー）が兼務している。

栄養士2人のうち1人は、任期付き職員である。

### (2) 職員健康診断

職員の健康診断は、6月に夜勤職員を対象にX線（胸）、血圧、尿の検査及び腰痛検診を実施しました。

また、12月には、全職員を対象に、6月の検査項目に加え、貧血、肝機能、血中脂質、心電図の各検査を行うとともに、希望者には、X線（胃）等の検査を実施しました。

### (3) 職員研修（受講）状況（別表19）〔38頁〕

職員の資質を高めるための一環として、専門的知識と技術の習得を重視し、施設内はもとより外部研修参加の機会を提供しました。参加数は減っています。

施設内研修においては、事故防止研修を5回実施しました。その内の2回はコロナウ

イルス感染症のクラスター発生を事故ととらえ研修を行いました。

各研修の実施後は、研修資料を添えて回覧等により職員が共有出来るよう努めました。

#### (4) 業務目標（自己申告）制度の実施

慶福苑の理念及び目標の達成に向けて、全職員が意識を共有化し、協働の意識の下で取り組んでいくことと職員の更なる資質向上を目指して「業務目標（自己申告）制度」を実施しました。

年度当初に、慶福苑としての組織目標を定め、この下に各係の組織目標を決め、施設長と職員が自己目標に係るヒアリングを年間3回実施しました。

令和4年度の組織目標は

- ① 利用者が尊厳をもって、自分らしく、いきいきと暮らすことが出来る“慶福苑”を目指します。
- ② やさしさと思いやりのある丁寧で、安心・安全な介護サービスの充実を図ります。
- ③ 利用者も職員も、過ごしやすい、働きやすい“慶福苑”を目指します。

### 10 各種会議の開催状況（別表20）〔39頁〕

事業の適正化・円滑化を図るため、管理職会議、運営会議、幹部会及び給食会議等の全体的な会議を毎月定期的で開催するとともに、施設の人事関連の方針等を審議検討する幹部会議を運営会議に併せ開催しました。

また、入所利用者が安心・安全で楽しく生活できるよう、リスクマネジメント委員会、余暇委員会・広報委員会、身体拘束等廃止・事故防止検討委員会、褥瘡予防対策チーム・排泄委員会、入浴委員会・整容委員会等の各委員会を定期的で開催しました。

入所者個々のケアプランを検討する「サービス担当者会議」は原則6カ月毎の月～金曜日にかけて開催し、各専門スタッフで検討し個別計画書を作成しました。会議には必要に応じ、入所者ご本人、ご家族の参加もできる会議体でしたが参加者はありませんでした。

業務の申し送り、伝達等については、夜勤明け時の引き継ぎや日勤者から夜勤者への申し送り等、各部門相互や業務全般にわたる必要な事項の担当者が各自パソコンを稼働して行う「施設介護情報システム」により、連絡情報の業務遂行の円滑化を図りました。

### 11 防災訓練等の実施状況（別表21）〔41頁〕

当施設の建物は耐震・耐火構造となっておりますが、入所者が高齢の災害弱者のため、災害時の対応については特別の配慮が必要となります。

このため、入所利用者の安全確保を最優先とし、防災訓練では、情報伝達訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練に重点を置いて、これらを一体的に実施しました。

また、平成23年3月11日発生 of 東日本大震災の状況を踏まえ、引き続き、同敷地内の併設の麻布乳児院と共に臨機応変の対応がとれるよう、ライフライン（電話、電気、ガス水道等）途絶時の留意事項の周知、緊急連絡網や備蓄食料品、医薬品の点検整備と周知に努めました。

特に、麻布消防署の「立ち入り検査」（査察）における非常口扉に関する避難障害の指摘

を踏まえ、苑内の該当箇所を自動火災報知機と連動した自動扉（電気錠）の取り付けを行い緊急時に備えました。さらに、従来の港区と同区内特養間で取り交わされていた災害時の応援協定を発展させた「災害時における特別養護老人ホーム麻布慶福苑の防災体制に関する協定書」を港区との間で締結（平成25年4月1日）しています。

これにより、慶福苑は、「港区地域防災計画」の中で災害時における「福祉避難所」と指定されています。

## 1.2 実習生の受入状況（別表2.2）〔41頁〕

例年、麻布慶福苑では、介護福祉士等を目指す学生の実習の場として、実習生の受入をしており、翌年4月の新規採用職員の手助けをしています。また、北里研究所病院の臨床研修医師の研修や北里大学薬学部の学生の実習の場としての受け入れも行い、協力医療機関との連携を密にしています。

令和4年度は関係機関から実習の受け入れ要請があり貞静学園短期大学から3名の学生の受け入れを実施しました。

## 1.3 苦情処理体制の整備

入所者及び家族等からの苦情・要望等に対応するため、施設長を苦情解決責任者に、生活相談員を苦情受付担当者に任命しています。

また、港区社会福祉協議会が港区からの委託を受けて実施している4名の介護相談員の派遣により、入所者の要望等を把握し、苦情の未然防止に努めています。

## 1.4 第三者評価受審及び介護サービス情報の開示

### (1) 福祉サービス第三者評価結果

令和4年度も東京都の「福祉サービス第三者評価」を受審しました。

評価結果の「特に良いと思う点」では、

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 施設の老朽化対策計画を策定し推進した。</li><li>② 迅速で総合的なコロナ対策を実施・継続して、クラスター発生を防御している。</li><li>③ 看取りケアの体制を整え、利用者・家族に寄り添う支援に努めている。</li></ul> |
|---|

をあげています。

「さらなる改善が望まれる点」としては、

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 基本理念・方針を周知するための一層の取り組みが求められる。</li><li>② 職員育成委員会による報告書に基づき着実な実践と人材確保が期待される。</li><li>③ 全ての職員が適切な言葉遣いや態度で利用者全員に接することができる取り組みが期待される。</li></ul> |
|--|

があげられており、これらについては、令和5年度の運営会議等の場を通し検討し改善に努めます。

### (2) 情報開示

令和4年度も施設の社会的役割の一環として、予算及び決算、事業計画及び事業報告、



その他当苑に関わる必要な情報を、個人情報の保護に意を用い、東京都の「介護サービス情報の公表制度」により公表しています。

## 1 5 当面する今後の課題

令和4年度の事業の実施状況を踏まえ、入所者の高齢化と要介護度の高い方が多くを占めていることから、個々の入所者に質の高い介護サービスを安定的に提供するため、引き続き、次の取り組みが求められています。

- 1) 介護と医療の一層の連携、協働を通しての、入所者の心身機能の維持及び改善、認知症ケアの充実
- 2) 効率的で良質なサービスの提供と新たなサービスの検討
- 3) 入所者の状態に応じたより望ましい食形態の食事提供の工夫
- 4) 必要とする職員の確保を図るとともに、資質をより高めるための一環としての人事考課制度（業務目標（自己申告）制度、勤務評定制度）の実施や効果的な研修機会の確保等の工夫
- 5) 入所者の安心・安全な居住環境整備の一層の推進

【別表 1 入所者の年齢構成別・性別状況】

単位：人

区 分	令和 4. 3. 31 現在	令和 5. 3. 31 現在		
		男 性	女 性	合 計
60歳～70歳	2	1	1	2
71歳～75歳	3	2	2	4
76歳～80歳	7	1	8	9
81歳～85歳	14	5	15	20
86歳～90歳	23	5	16	21
91歳～95歳	19	1	14	15
96歳～100歳	19	0	15	15
101歳～	9	0	6	6
合 計	96	15	77	92
平均年齢	89.3	82.9	89.3	88.3

最高齢者 男性93歳 女性107歳

100歳以上7人(男性0名、女性7名)

【別表 2 入・退所状況】

単位：人

区分	各月末日現在入所者数			入所者			退所者		
	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性
4年4月	91	17	74	0	0	0	5	1	4
5月	92	16	76	2	0	2	2	2	0
6月	95	15	80	4	0	4	0	0	0
7月	98	17	81	3	2	1	0	0	0
8月	99	18	81	1	1	0	0	0	0
9月	98	18	80	1	1	0	2	1	1
10月	96	17	79	0	0	0	2	2	0
11月	98	18	80	3	2	1	1	0	1
12月	92	16	76	3	1	2	9	3	6
5年1月	88	15	73	2	1	1	6	2	4
2月	89	15	74	4	1	3	3	1	2
3月	92	15	77	4	1	3	1	1	0
合 計				27	10	17	31	13	18

【別表 3 入所前生活状況】

単位：人

区分	居宅	病院	その他施設等	合計
令和3年度	5	2	11	18
令和4年度	8	3	16	27

【別表 4 退所理由別状況】

単位：人

区分	死亡	入院	家庭復帰	その他	合計
令和3年度	19	2	0	0	21
令和4年度	29	2	0	0	31

【別表 5 要介護認定の状況】

(各年度3月31日現在) 単位:人

	性別	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	合計
令和3年度	男性	1	0	3	8	6	18
	女性	1	4	12	34	27	78
	合計	2	4	15	42	33	96
令和4年度	男性	0	0	4	7	4	15
	女性	3	4	14	35	21	77
	合計	3	4	18	42	25	92

(注) 平均要介護度: (4年3月31日) 4.04 → (5年3月31日) 3.89

【別表 6 身体障害の状況】

(各年度3月31日現在) 単位:人

区分		視覚障害		肢体不自由		聴覚障害		内部障害		合計	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3年度	2級以上	1	0	1	7	0	0	0	0	2	7
	3級以下	0	0	0	5	0	1	0	0	0	6
4年度	2級以上	0	0	0	7	0	0	1	0	1	7
	3級以下	0	1	1	6	0	0	0	1	1	8

(注1): その他 愛の手帳 4級 女性2名

【別表 7 日常生活動作 (ADL) の状況】

(各年度3月31日現在) 単位:人

区分		令和3年度	令和4年度
食事介助	一部介助	26	12
	全部介助	24	19
排泄介助	一部介助	36	28
	全部介助	49	46
着脱衣介助	一部介助	53	40
	全部介助	38	45
入浴介助	一部介助	42	34
	全部介助	41	47
寝返り介助	一部介助	0	0
	全部介助	46	34
車椅子使用者数		85	83
認知症高齢者数		80	80
オムツ使用者数		57	46
褥瘡者数		0	4
利用者数		96	92

【別表 8 令和4年度 回診状況】

単位：人

区分		内科	精神科	合計
4月	実人員	92	7	99
	延人員	122	8	130
5月	実人員	94	2	96
	延人員	132	2	134
6月	実人員	97	4	101
	延人員	129	4	133
7月	実人員	82	4	86
	延人員	103	4	107
8月	実人員	99	3	102
	延人員	137	3	140
9月	実人員	97	3	100
	延人員	138	4	142
10月	実人員	94	5	99
	延人員	130	5	135
11月	実人員	98	5	103
	延人員	188	5	193
12月	実人員	49	2	51
	延人員	64	2	66
1月	実人員	81	2	83
	延人員	106	2	108
2月	実人員	72	4	76
	延人員	104	5	109
3月	実人員	84	6	90
	延人員	122	7	129
合計	実人員	1,039	47	1,086
	延人員	1,475	51	1,526

【別表 9 医務室処置件数】

単位：延べ人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科	266	347	358	376	407	292	282	186	51	47	115	234	2,961
皮膚科	343	348	331	267	347	348	323	413	150	195	193	406	3,664
内科	847	672	649	615	652	562	626	651	548	479	468	536	7,305
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
褥瘡	0	0	28	54	61	82	80	56	8	4	25	34	432
整形	71	73	84	107	70	93	96	102	57	34	43	71	901
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,527	1,440	1,450	1,419	1,537	1,377	1,407	1,408	814	759	844	1,281	15,263

【別表 10 医療機関への入・退院状況】

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	4	3	3	5	6	5	4	3	11	6	2	2	54
退院	3	2	5	3	4	6	4	2	6	11	2	3	51

【別表 11 受診状況】

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	実人員	5	5	8	3	7	5	5	3	9	1	2	58
	延人員	7	6	9	4	7	5	6	6	10	1	2	66
外科	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	実人員	2	3	0	1	1	2	0	0	1	2	1	13
	延人員	3	4	0	1	1	2	0	0	1	2	1	15
皮膚科	実人員	2	2	3	2	1	2	3	2	1	3	2	25
	延人員	6	4	5	3	1	3	4	3	2	4	3	39
眼科	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	実人員	2	2	2	2	2	2	3	2	0	1	3	23
	延人員	2	3	2	2	2	2	5	3	0	1	3	27
耳鼻科	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	実人員	11	12	13	8	11	11	11	9	6	13	8	121
	延人員	18	17	16	10	11	12	15	12	6	14	9	149

【別表 1 2 機能訓練実施状況】

(各年度年間) 単位:人

区 分		令和3年度	令和4年度
個別機能訓練	延人数	2,792	3,042
	一日平均人数	11.0	12.0
集団運動	延人数	4,222	3,158
	一日平均人数	16.7	12.5

【別表 1 3 クラブ活動の状況】

(各年度年間) 単位:延べ人

区 分		令和3年度	令和4年度	区 分		令和3年度	令和4年度
歌謡クラブ	男性	0	0	料理クラブ	男性	7	12
	女性	0	0		女性	77	78
	合計	0	0		合計	84	90
レククラブ	男性	18	11	リズム体操	男性	0	0
	女性	219	151		女性	0	0
	合計	237	162		合計	0	0
習字クラブ	男性	1	0	アニマルセラピー	男性	0	10
	女性	22	24		女性	0	70
	合計	23	24		合計	0	80
絵画クラブ	男性	0	1	みなと 保育園 園児来苑	男性	0	0
	女性	3	11		女性	0	0
	合計	3	12		合計	0	0
散歩クラブ	男性	17	15	リハビリ 体操	男性	0	0
	女性	121	143		女性	0	0
	合計	138	158		合計	0	0
陶芸クラブ	男性	9	8	年度合計		557	688
	女性	63	58				
	合計	72	66				
足湯クラブ	男性		7				
	女性		89				
	合計		96				

【別表14 食事形態の状況】

(1) 主食の食事形態 (単位: 人)

区分	米飯食	軟飯	全粥	パン	パン粥	パン粥ミサー
令和4年3月	28	6	20	2	12	17
令和5年3月	32	3	24	1	8	9

粥ミキサー2人

(2) 副食の食事形態 (単位: 人)

(単位: %) (各年合計100%)

区分	常菜食	一口切	刻み	極刻み	ペースト	流動食 (経管栄養)
令和4年3月	12	26	22	1	23	6
(内ハーフ食対応)	0	4	7	2	14	2
令和5年3月	23	18	25	1	15	14
(内ハーフ食対応)	1	2	6	0	11	5

(3) 療養食 (治療食) 人数 (単位: 人)

区分	糖尿病食	減塩食
令和4年3月	9	8
令和5年3月	8	11

【別表15 代替食の状況】

(1) 嗜好によるもの (単位: 人)

食品名	人数	食品名	人数	食品名	人数	食品名	人数
牡蠣	0	鶏肉	0	カレー	3	あんこ	0
鯖	3	豚肉	1	パン	5	豆腐	1
卵	1	牛肉	0	ハム	0	カレー粉	1
生卵・温泉卵	0	椎茸	0	海苔	1	スイカ	1
ハヤシ	2	漬物	0	ブドウ	0	メロン	1
バナナ	2	乳製品	1	林檎ジュース	1	鱈	1
魚	4	帆立	0	スパゲティ	0	パイナップル	1
青魚	1	キウイ	2	パン粥	0	チョコレート	1
納豆	3	牛乳	9	麺	7	生クリーム	1
甲殻類	1	うどん	0	蕎麦	2	トマト	1
ヨーグルト	1	肉	5	シチュー	1	生魚	1

(注記) 本表「人数」重複のケース有り

(2) アレルギーによるもの (単位: 人)

食品名	人数
海老・蟹	2
マンゴー	2
イチゴ	1
キウイ	1
バナナ	1

(3) 薬の相互作用、疾病によるもの (単位: 人)

食品名	人数
納豆	2
グレープフルーツ	1
カレー粉	1
揚げ物	6
生野菜・生果物	1

【別表 16 特別食の実施状況】

(令和4年度年間)

実施月日	行事名	特別メニューの内容
6月 16日	お食事会	ご飯、卵スープ、エビチリ、錦糸焼売、イカとホタテの中華サラダ
7月 7日	七夕	七夕そうめん、星のミートコロケ、ごまとワカメの酢の物、野菜ジュース
7月 23日	土用の丑の日	穴子のバラちらし、すまし汁、肉じゃが、フルーツミックス
8月 7日	慶福祭	焼きそば、お好み焼き、焼き鳥、リンゴジュース
9月 19日	敬老の日	赤飯、すまし汁、金目鯛の粕漬焼き、天ぷら盛り合わせ、炊き合わせ〈寿〉 紅白なます
9月 26日	十五夜	ご飯、味噌汁、鰯の照り焼き、フキの土佐煮、柿
10月 17日	お食事会	寿司7貫、すまし汁、だし巻き卵
12月 19日	クリスマス会	クリスマスケーキ、コンソメスープ、クリスマスキャンドル、パンケーキ、イブ
12月 31日	大晦日	年越しそば、海老の天ぷら、ほうれん草の磯和え、野菜ジュース
1月 1日・2日	お正月	赤飯、お雑煮、刺身盛り合わせ、祝肴、紅白なます、栗きんとん
1月 7日	七草	七草粥、味噌汁、だし巻き卵、おろしのなめたけ和え
2月 3日	節分	ゆかりご飯、鰯のつみれ汁、そぼろ入り卵焼き、フルーツミックス
3月 3日	雛祭り	散らし寿司、すまし汁、菜の花の辛子和え、ひなあられ

注記) 上記には、毎月実施(原則、第1木曜日昼食時)の「誕生日会食」は割愛しています。

【別表 17 ご家族等との面会の状況】

(各年度年間)(単位:人)

区分	令和3年度	令和4年度
12回以上	42	5
6回以上	16	19
4回以上	9	6
2回以上	18	15
1回以上	14	10
なし	17	21

【別表 18 ボランティアの受入状況】

(各年度年間)(単位:延べ人)

サークル名等	令和3年度	令和4年度
港区社会福祉協議会	0	10
東京リズムグループ協会	0	0
聖心インターナショナルスクール	0	0
聖心女子学院中・高等学校	0	0
東京女学館小・中・高等学校	0	0
広尾学園	0	0
高稜中、東洋英和、フレンド学園他	0	0
みなと保育園	0	0
むつみ会	0	0
日本動物病院福祉協会	0	12
個人	5	10
合計	5	32



【別表19 職員研修（受講実績）】

令和4年度

番号	研修名	テーマ (内容)	講師	開催日 月 日	参加 人数	
1	福祉避難所開設等に関する意見交換会	要支援者等の受入れについて説明し施設の皆様と意見交換をおこなう		5	19	1
2	BCP策定講座	厚生労働省より公表のBCPガイドラインやひな形等に即して本事業用に作成されたテキストを用いたワークショップと講義	MS&ADインターリスク総研(株)コンサルタント	6 7 1・21	27	1
3	令和4年度 第1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ			6 7 8 3・10・23・30 4	20	1
4	介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）	介護保険制度請求に係る基本情報等	特別養護老人ホームやすらぎの家	8	29	1
5	東京都災害福祉広域支援ネットワーク主催事業「災害時の福祉応援職員派遣について考える」	キャンセル	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 園崎秀治	11	10	1
6	令和4年度 東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ			11 12 25 12・19・25		1
7	令和4年度 港区介護サービス事業所向け研修 第13回ケアマネージャー研修④	終末期ケア（ターミナルケア）～看取りケア～	羽鳥栄子	11	16	2
8	労働災害再発防止講習会	労働災害発生状況等災害防止対策、リスクアセスメントについて		1	20	1
9	第22回 特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修	個票を用いた数値の読み解きと経営感覚を養う	(株)川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 水田智博	1	23・24	1
10	デジタル推進委員会オンライン研修	今さら聞けない、今しか聞けない ロボット・ICT機器 導入・活用の意義と進め方	千葉大学 准教授 小林宏気	2	21	1
11	衛生管理者公開講座			2	21・22	1
12	防火・防災管理者講習			3	6・7	1
13	機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価	身体機能や環境面の評価、プランの作成取り組み評価の繰り返しと書類の作成のサイクルを学ぶ	大起エンゼンヘルプ 理学療法士 田中義行	3	20	1

内部研修

1	事故防止研修	内出血ができる要因	看護師 鯉坂	5	1	13
2	〃	事故予知訓練	写真を見て各自で検討	9	11	5
3	〃	〃	〃	10	2	9
4	〃	コロナウイルス感染症	発生時の対応で困難さを感じたことについて各自で検証・検討	2	5	13
5	〃	〃	発生時の対応について各自話し合い	3	5	11

【別表 20 各種会議の開催状況】

(令和4年度年間)

名称	開催状況	参加者	内容
1 運営会議	毎月第2水曜日 (年12回)	法人常務理事・施設長・事務長・総括主任・主任生活相談員・主任看護職員・主任介護職員・管理栄養士・機能訓練指導員・総務係主任	○毎月開催し、施設運営の基本的事項を含めて全般にわたる課題や関連する諸問題の事項等を審議検討するとともに、施設長の各般の諮問に応えると共に意見交換を行った。毎月、議事録の配布により、全職員に周知を図った。
2 管理職会議		施設長・事務長・総括主任	○運営会議に合わせ開催し、運営会議の内容について調整を図った。
3 幹部会議	毎月第2水曜日、運営会議終了後開催 (年12回)	施設長・事務長・総括主任・主任生活相談員・主任看護職員・主任介護職員	○運営会議に併せて毎月開催した。 ○施設の人事関連の方針等を審議検討した。
4 看護師と介護士の連携会議	毎月第2水曜日、運営会議終了後開催 (年12回)	総括主任・主任介護職員・主任看護職員	○施設の看護・介護の一層の連携を図り入所者の安全・安心な生活をための検討をした。
5 衛生委員会	毎月第2水曜日、運営会議終了後開催 (年12回)	衛生管理者・施設長・事務長・主任・副主任及び必要に応じ産業医	○毎月開催し、職員の安全衛生及び衛生に関する事項について審議等を行った。
6 給食会議	毎月第3木曜日 (年12回)	施設長・事務長・管理栄養士・生活相談員・介護職員・看護職員・給食委託業者の責任者若しくは関係者	○毎月開催し、給食に関する諸問題について各部署からの意見を求めると共に今年度から委託した業者の参加も得て、相互の理解と協力を深め、給食業務の向上に努めた。お食事会等の行事食について協議し実施した。
7 食事委員会	毎月第3木曜日、給食会議終了後(年12回)	施設長・生活相談員・介護職員・管理栄養士・看護職員・機能訓練指導員	○毎月開催し、入所利用者個々に合った食事形態を提供するための基準などの考察検討を行うと共にホーム喫茶の運営を行った。また、忘年会の食事を担当した。
8 リスクマネジメント委員会	毎月第4金曜日 (年12回)	生活相談員・管理栄養士・主任介護職員及び介護職員・看護職員及び必要に応じ機能訓練指導員若しくは関係者	○毎月開催し、PC、DS. の活用方法や各種利用者処遇に関連した書類や用語を整理した。 ○記録管理に係る「マニュアルの変更及び見直しを行った。 ○虐待チェックリスト調査・集計を行った。 ○介護マニュアルの見直しを行った。
9 サービス担当者会議	6か月ごとに毎週月～金曜日	施設長・介護支援専門員・生活相談員・管理栄養士・担当介護職員・看護職員・機能訓練指導員及び必要に応じ関係者・利用者本人若しくは家族の方	○ケアプラン策定に係わる各部署専門スタッフが一同に参加し、専門的立場から意見を交わし、必要な検討を重ね、サービス計画書を作成した。各スタッフのそれぞれの役割分担を明確にし、互いに連携協働した。
10 余暇委員会・広報委員会	毎月第3金曜日 (年12回)	生活相談員・主任介護職員・介護職員・医務室	○毎月開催し、年間を通じてクラブ活動及び苑内の装飾を行い施設内の雰囲気をも明るくするよう努めた。また、利用者に豊かで充実した余暇活動を提供しQOLの向上に努めた。 ○施設の活動内容を掲載した「はなみずき」を偶数月発行し、利用者様とご家族に施設への理解を深めて頂いた。誕生者カードの作成するとともに文化祭を担当し盛り上げた。

名称	開催状況	参加者	内容
11 身体拘束等 廃止・事故 防止検討委 員会	毎月第4火曜日 (年12回)	生活相談員・主任介護職 員・介護職員・医務室関係 者	○毎月開催し、入所利用者の人権擁護の観点から身体拘束を行わないために施設全体での取り組みを継続した。安心安全に施設での生活を送れるように日々の事故ヒヤリハットを検証し事故防止に努めた。
12 褥瘡予防対 策チーム/ 排泄委員会	褥瘡予防対策 チーム 第2水曜 日/排泄委員会 第2金曜日 (各年12回)	生活相談員・管理栄養士・ 主任介護職員及び同副主 任・介護職員・主任看護職 員・機能訓練指導員	○毎月開催し、入所利用者に対し、良質なサービスを提供する取り組みのひとつとして、褥瘡が発生しないような適切な介護に努めるとともに、その発生を防止するための体制を整備することを目的に、褥瘡対策指針を定めた。安心安全で快適な排泄をめざし、利用者の身体状況に合わせた排泄方法及び介助方法の基準を考察した。必要書類及びマニュアルの見直しを行った。トイレ・汚物室・各機材(ポータブル・排泄カード等)・その他排泄に関する衛生管理に努めた。
13 入浴委員 会・整容委 員会	毎月第3水曜日 (年12回)	生活相談員・主任介護職 員・介護職員	○毎月開催し、入所利用者が生活していく上で大きな比重を占める、入浴に関する介護の質を高め快適な生活を送っていただくためのより良い方法を目指し意見交換等を行った。整容に関する介護の質を高め、利用者に快適な生活を送っていただくためのより良い方法を目指し意見交換等を行った。
14 マナー向上 委員会	随時	施設長・事務長・総括主 任・主任生活相談員・介護 職員・医務室担当者	○苑として、職員の接遇マナーの質の向上と維持に努めた。本年度は特別な対応事例がないこともあり開催するに至らなかった。定期的に、施設長、上司と面談する機会を設けることにより、自身を見直すきっかけとなった。今後は、運営会議の場等と並行して必要に応じ同時開催を検討することとしている。
15 行事委員会	随時	総括主任・主任生活相談 員・管理栄養士・主任介護 職員・主任看護職員	○年間の行事の企画・立案・評価を行った。また、それぞれの行事における各部署との連絡調整、家族への連絡、ボランティアの依頼を実施した。(窓口は生活相談員に一本化した。が、準備、実施は各部署が分担した。)
16 事故防止委 員会	随時	「運営会議」メンバー及び 施設長が必要と認める者	○事故の未然防止のための対策等を検討するとともに、事故の原因等を分析し、具体的対応策をまとめ実施することとしているが、本年度は該当事例がなく開催に至らなかった。
17 感染症予防 対策検討委 員会	随時	施設長・事務長・総括主 任・管理栄養士・主任介護 職員・主任看護職員・主任 生活相談員	○入所利用者の安全管理、感染症予防及び感染症発生時の具体的対応を協議検討した。
18 実習生受け 入れ担当	随時	施設長・事務長・総括主 任・主任介護職員・主任看 護職員・主任生活相談員・ 機能訓練指導員	○各養成施設等の介護実習生の受け入れ、北里大学薬学部学生ボランティアの受け入れ、北里研究所病院研修医師の受け入れを、各フロアの協力を得て行った。
18 職員育成委 員会	毎月第4木曜日	施設長・事務長・各階介護 職員・看護職員	○職員を教育することで離職する職員を減らすとともに新人職員を育成する人材を強化する。

【別表 2 1 防災訓練等の実施状況】

(令和4年度年間) 単位：人

訓練実施日	訓練内容	参加者
令和4年 4月22.26.28日	(届) 新人職員 消防訓練	3
5月22.30.30日	新人職員 消防訓練	3
6月16日	看護師 消防訓練	4
7月27日	消防訓練	4
9月15日	BCP訓練	4
10月28日	(届) 乳児院との合同防災訓練	10
11月26日	新人職員 消防訓練	2
12月16日	コロナウイルス感染症クラスター発生の為中止	0
令和5年 1月20日	消防訓練	3
3月9日	乳児院との合同防災訓練	10

(注)：(届)は、「麻布消防署」へ事前に届出をして実施したものです。

「総合訓練」では、情報伝達訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練に重点を置いて、これらを一体的に実施しました。

【別表 2 2 実習生の受入状況】

(各年度 年間) 単位：人

受入先学校・団体等	令和3年度	令和4年度
貞静学園短期大学	0	3
目白大学短期大学部	0	0
北里大学北里研究所病院（臨床研修医師）	0	0
北里大学薬学部	0	0
読売理工医療福祉専門学校	2	0
合計	2	3

## 短期入所生活介護（ショートステイ）事業報告

### 1 概 要

短期入所生活介護事業は、利用定員4床（この外に、2床の、特養の空床利用枠有り）で運営しています。

令和4年度の事業運営に当たっては、在宅で家族等に介護されている高齢者の短期的利用であるという特性から、在宅での介護方法の継続と心身機能の維持及び家庭との連携について、特に配慮し処遇に努めました。

### 2 ショートステイの利用状況

令和4年度のショートステイの利用状況は、内部修繕工事の影響もあり1日平均3.8人、利用泊数は1人7.1泊となっています。

介護予防サービスの利用も1人ありました。

区分	利用実人数 (人) A	利用延日数 (日) B	1日平均利用 人数(人) B/月・日数	利用延泊数 (泊) C	1人平均利用 泊数(泊) C/A
令和4年4月	8	53	1.8	45	5.6
5月	9	71	2.3	64	7.1
6月	13	94	3.1	82	6.3
7月	11	104	3.4	93	8.5
8月	15	118	3.8	105	7.0
9月	14	114	3.8	102	7.3
10月	20	157	5.1	140	7.0
11月	18	164	5.5	151	8.4
12月	9	63	2.0	54	6.0
令和5年1月	18	116	3.7	102	5.7
2月	21	181	6.5	163	7.8
3月	18	159	5.1	145	8.1
合計〈平均〉	174	1394	3.8	1246	7.1